

5月15日(水) 本年度第39回(通算2959回)12時30分～ 釧路プリンスホテル  
『ロータリー理解』

担当/ロータリー情報委員会

☆出席報告【会員総数79名 免除6名 出席計算に用いた会員数79名】

本日の出席率 出席者 39名 メーキャップ 13名 本日の出席率 66%  
前々回の出席率 出席者 41名 メーキャップ 10名 本日の出席率 65%

☆ニコニコ献金

- ・高橋邦弘委員長、宜しく申し上げます ～小林 裕幸君
- ・今日の例会よろしく申し上げます ～大友 淳君
- ・無事に手術に耐え帰ってまいりました。皆さんにはご心配をお掛けしました。これからは、健康に留意して参ります。ありがとうございます ～長内 信辰君
- ・皆様のおかげで1年経ちました ～小久保 智紀君
- ・先日は次年度のためのクラブ協議会にご参加ありがとうございました ～坂入 信行君
- ・36年目無事迎えました ～高橋 邦弘君
- ・令和ベイビー誕生しました ～中島谷 友一朗君

☆《小林会長》☆



皆さんこんにちは。12日の日曜日に釧路北ローターアクトクラブの桜の木の植樹が、釧路町の別保公園にて行われました。私と大友幹事・宮下副幹事と三名にて参加してまいりました。釧路町の小松町長よりアクトクラブへ感謝状の贈呈が行われました。アクトクラブも年度の終わりが近づいておりますが、河川敷の清掃活動等、最後まで事業が控えており活発に活動されている姿に刺激をもらってまいりました。

さて、家庭集会ですが、今年度は上期2回・下期2回の家庭集会を計画させていただきました、今月が4回目という事で最終となります。家庭集会の目的はロータリー用語辞典によりますと、『会員がロータリーをよく知り、ロータリーの奉仕の理想を種々の方法で直ぐに実践し得るよう彼等を援助することによって、「奉仕の機会として知り合い」を広めて行くことにある。』ロータリーの創設以来、知り合うことと話し合うこととは親睦の基本的な条件とされてきた。この会合は少人数が集まって自由に討議する会合で、本来会員の家で開かれる。通常委員会ごと、あるいは討論のテーマによって任意のメンバーで開かれる。この会合に参加し、発言し、そして他人の意見を聞くことによって会員はロータリーの持つ一層深遠な、(この、深遠とは「奥深く容易にはかりしれないこと」)人間味をより明確に認識するようになる。かつては炉辺会合と呼ばれていたものが改称された。とあります。私は、前半の2回につきましては、60周年を会員力を合わせて成功させよう、次に60周年が終了し、経60周年を会員力を合わせて成功させよう、次に60周年が終了し、経験してみても、次の70・80周年に向けて会員皆様が、どのように感じ、次にはもっとこうしたらいいのではという部分を時間が経過しないうち

に、話し合う機会を設けよう、3回目は例会出席の重要性について、ロータリークラブの公共イメージを向上させるにはどのような取り組みが必要かと、投げかけさせていただきました。今回は西クラブさんとの合同という事で、テーマは社会奉仕についてとなります。先ほどもお話しさせていただきましたが、他のクラブのメンバーと少しお酒も入った中で、奥深く容易にはかりしれない人間味を感じていただければと思います。今年度は家庭集会報告会という例会がありませんので、このようなお話をさせていただきました。本日の例会は、当クラブの中では3番目にロータリー歴の長い、高橋邦弘委員長にお願いしており、楽しみにしております例会です。高橋委員長どうぞ、よろしくお願いいたします。

以上で会長あいさつを終わります。

## ☆《大友幹事》☆



### 【 回 覧 】

1. 釧路東 RC 様・釧路南 RC 様・釧路西 RC 様・釧路ベイ RC 様より、5月例会プログラムのご案内が届いています

## ロータリー理解

### ロータリー研修委員会 北川委員長



本年度研修委員会での家庭集会の方針についてお話しさせていただきます。

本年度は、家庭集会毎のテーマ以外に、何を基準に集まりを構成したのか会員に理解して貰いたいと思いました。一回目の7月は、会員の自宅にある地域を中心に構成致しました。又、自宅が近い会員同士で集まりを作ろうと言う班が出たところが有りました。11月は、飲食店に参与している会員を招集者として開催させて頂きました。開催場所が広がったと思います。2月は、干支を中心に集まりを設けました。4回目は、他クラブとの合同家庭集会を考えました。IM 又は、合同例会を行っても、他クラブ会員との交流する機会がほとんどありませんので、今回垣根を越えて他クラブ会員と共に語らい親睦を深める集まりを作りたいと言う思いで企画致しました。結果、釧路西 RC と当クラブの理事会で承認を受け実現することになりました。只、会員数が釧路西 RC は31名、当クラブが79名と班編成でなかなか一致を得られませんでした。開催日は、すでに終わりましたが13日が2班・5班・6班の三班、明日16日が4班・8班の2班、17日が3班、3班は当初10名参加でしたが、都合の悪い会員が多く参加できる方がいましたら副幹事宮下迄連絡をお願い致します。20日は1班、24日は7班が開催致します。家庭集会は、ロータリーの魅了を発見する場であり、会員同士が奉仕を知り合える機会として、自由に討議・話し合う場でもあります。この場を有意義に使って欲しいと願います。

続きまして高情報委員長お願い致します。



ロータリー情報委員会担当しています高橋です。

今日は、家庭集会の開催方法と仕方をお話いたします。

私は、在籍して36年になりますが、最初はロータリーのこともあまり解らなかつたのですが、長く在籍しロータリーとの関わりも出来始めると、何かもやもやしている部分が二つあります。

一つ目は、ロータリーの主文が理解できないことです。これは、私だけではなく、3年ほど前に講演した鳥井さんがロータリーの友を通じて、綱領から目的に改変するとの報告が有りました。その中で本人は、日本のロータリアンの約70%は、目的の主文を理解していない。それだから綱領を変えるんだと言う話でした。実際、言葉は変わっても中身は変わっていない。講演に来た時に、質問をして、答えを求めましたが返ってきませんでした。この件は、今日も心に残っています。

もう一つは家庭集会の開催方法です。今まで何度も招集者をやってみて、自分の設定した日にちに多くの会員が集まっていたら、日程選定が間違っていなかったんだなと思いますが、少なれば日にちの設定が間違いだなと思いました。家庭集会の報告書も現在は、皆様に配布することになっておりますが、最初のうちは、幹事に報告書を提出し、そこで止まってました。それは幹事のために報告書を提出する意味合いになり、それは違うのではないかと、どういふ話をしたかを会員の皆様に知ってもらうことが重要だと考え、私の担当年度にそのように変えさせて頂きました。それで現在は、報告書が皆さまの手元に配布されております。開催日の設定も自分だけで決めるのではなく、もうひと手間かけて、それぞれの班の全員の都合を聞いて、公平に日程を決めたらどうかと思います。そして、誰が招集者になっても出来るマニュアルはないかと考えました。昨年構想が出来上がって、理事会に提案しました。

理事会では、招集者の仕事をもう少し減らそうと、一部を事務局にお願いした方がいいと言う話がありました。今回4回目の家庭集会ですが、この様式が私の作った様式で開催案内を出しています。次年度の継承して頂いて、又検証していただき、その結果を改良して頂きたいと思います。家庭集会は、とっても重要な会合であると考えております。具体的には、皆さまのお手元に配布しております。招集者と報告者の役割分担を読んで頂ければ解ると思います。家庭集会の開催日程も載せております。資料にあるように、心使い、手順が重要だと考えます。資料にとらわれる必要はありませんが、参考にさせていただいて一番いい形を皆さんで作って頂きたいと思います。それが私の願いであります。おおまかな説明をさせて頂きました。

よろしくどうぞお願い致します。

今週のスナップ

